

報告

Astro-HS 全国フォーラム 2005

篠原 秀雄（埼玉県立蕨高等学校）

4 回目となる高校生天体観測ネットワーク (Astro-HS) の全国フォーラムが、2005 年 3 月 27 日 (日) に開催された。今回のフォーラム会場は、天文好きの高校生にとって聖地ともいべき国立天文台三鷹キャンパスであり、参加した高校生にとっても、印象深いものになったのではないだろうか。参加者は高校生が 129 名、一般参加者が 58 名の合計 187 名であった。天文台のすばるホールがほぼ満員となり、会場は熱気にあふれた (図 1)。



図 1 会場の様子

昨年は、生徒の発表をジュニアセッションに一本化し、Astro-HS のフォーラムでは講演や交流を中心とするようなプログラムを組んだのだが、やはりフォーラムでも生徒発表を入れてほしいという声が多かった。そのため、今回のフォーラムでは、一般の講演をなるべく減らして、その分高校生の活動を多くとれるようにプログラムを組んだ。

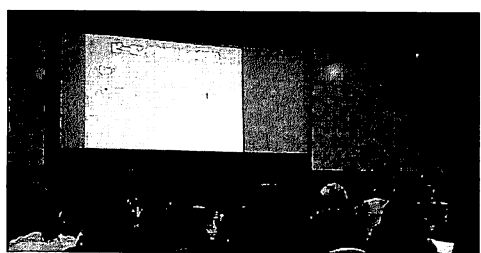


図 2 高校生による発表

高校生による発表 (図 2) は、口頭が 14 件 (そのうち 8 件はポスター発表も)、ポスターのみが 16 件で、合計 30 件であった。

今回のフォーラムの詳細については、Astro-HS の web (<http://www.astro-hs.net>) に掲載してあるが、高校生の発表内容はバラエティに富んでおり、中には VLBI を使った研究のように大学院レベルでは?と思われるものもあった。

夕食後の交流会では、全参加グループから一言スピーチをしてもらった。その後はデジタル・アストロノミーで最近利用されることの多くなってきたマカリィとレジスタックスの紹介があり、参加者はみな熱心に聞いていた。全体に時間が超過気味となり、ポスターセッション (図 3) の時間がほとんどとれなくなってしまったのが残念であった。



図 3 ポスターセッション

フォーラムは午後 1 時から夕食をはさんで夜 7 時までの時間帯で開催されたが、午前中には天文台の施設見学を、そして夜には 4D コンテンツの紹介と 50cm 望遠鏡による観望会をオプションプログラムとして用意した。多くの高校生に楽しんでもらったものと思う。

参加グループのほとんどは同じホテルに宿泊し、会場を移してのフォーラム第二部(?) は大人の交流会として深夜まで盛り上がった。